

# 会報

一般社団法人 北海道電業協会

No.208  
2026.02



# 会 報

2026.2  
No.208

## 目 次

### 年 頭 ご 挨拶

国土交通省 北海道開発局 営繕部長 滝 本 悦 郎…………… 1

令和7年度 登録電気工事基幹技能者認定講習 …………… 2

令和7年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会 …………… 3

令和7年度 会員大会 …………… 4～5

令和7年度 経営者懇談会・セミナー …………… 6～7

令和8年 電気関係賀詞交歓会 …………… 8

### シリーズ 私のいちおし

浅海電気株式会社札幌支店 支店長 松 永 卓 也…………… 9

### シリーズ 1/179 便り

・新しくなった『おくしり』 ～奥尻町～

奥尻町長 新 村 卓 実…10～11

・花の浮島 礼文島 ～礼文町～

礼文町長 澁 谷 秀 勝…12～13

### シリーズ 地区協会便り

室蘭電業協会 会長 千 葉 昌 子…14～15

シリーズ 現場からこんにちは ～株式会社 北弘電社～……………16～17

令和7年度 建設産業ふれあい展 ……………18～19

新加入会員紹介 ～株式会社 中村電気札幌支店～ ……………20

厚生事業活動報告 ～ボウリング・ゴルフ部会～……………21

業界だより、理事会・三役会議・委員会報告……………22～24

講習会情報……………25

会員行動目標……………26

事務局日誌……………27

北海道の最低賃金……………28

編 集 後 記 ～広報委員長 木 村 賢 史～



# 年頭ご挨拶

国土交通省 北海道開発局

営繕部長 滝本悦郎

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

一般社団法人北海道電業協会並びに会員の皆様には、国土交通省における北海道開発行政、とりわけ営繕事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当部では、官庁施設の老朽化が進む中、既存施設の最大限の活用を図りつつ、災害に対する国民の安全・安心の確保等に的確に対応するため、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等に備えた防災・減災対策を推進し、官庁施設の防災機能の強化を図ることとしています。

特に、防災拠点となる施設については、大規模災害が生じた際における災害応急対策活動への支障のおそれを解消するため、自家発電設備や受変電設備の改修、設備機器の上階設置などの電力確保等の対策を実施していくこととしています。

加えて、既存官庁施設の老朽化により危険箇所の増加が見込まれる中、より長く安全に利用しトータルコストの縮減等を実現するため、計画的な改修により危険箇所の解消を図り、官庁施設の長寿命化を推進することとしています。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、営繕事業の実施に当たって環境負荷低減に資する技術を積極的に取り入れることで、脱炭素化を推進しています。新築事業については、原則ZEB Oriented相当以上を確保するように整備しており、さらに2030年度までに新築建築物の平均でZEB Ready相当となることを目指す、との目標を達成すべく、順次整備を進めているところです。

こうした施策推進において、重要な役割を果たして頂いております貴協会並びに会員の皆様に改

めて御礼を申し上げますとともに、今後も多様化、複雑化するニーズに応え、活発な事業活動を展開されることを期待しております。

建設業界では高齢化や人手不足の課題を抱える中、近年の札幌市内の再開発等をはじめとした旺盛な建設需要により、人手不足はますます厳しい状況となっています。

このため、営繕事業において、適正な工期設定、完全週休2日の推進、余裕期間制度の積極的な活用、見積活用の採用やスライドの適切な運用、ICTをはじめとした生産性向上技術の積極活用、工事書類の簡素化、改修工事における平日作業拡大のための調整などの施工条件の明確化、ウィークリースタンスやワンデーレスポンスの徹底など、働き方改革につながる取組をより一層推進してまいります。

また、今年度から、工事完成後に受注者へのフォローアップ調査を実施することにしており、これにより発注者の取組の課題把握と改善に努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が貴協会にとってますます発展する年となりますよう祈念するとともに、会員の皆様のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 令和7年度 登録電気工事基幹技能者認定講習

# 登録電気工事基幹技能者の認定目指す！



令和7年10月25日(土)～26日(日)北農健保会館において、登録電気工事基幹技能者認定講習が開催され、認定を目指し34名が受講しました。

この講習は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」を踏まえ、(社)日本電設工業協会が策定した「電気工事業における技能開発計画」に基づき「登録電気工事基幹技能者」の認定を受けるための講習となっています。

登録基幹技能者は、公共工事総合評価方式の加点項目に設定されており、平成30年4月からは、建設業法の主任技術者の要件を満たす者と認められることになりました。また、建設キャリアアップシステムではゴールドカードの適用となり、建設技能者の能力評価制度では最上位に位置付けられています。

講習の開催にあたり当協会の長内事務局長は「設備業界をはじめ建設業界においては、現場の技術者に対して適切な指導・統率を行っていくという役割を担う『登録電気工事基幹技能者』を確保し、また、育成することがますます重要となっている。基幹技能者に期待される役割や能力、各業種に共通する施工管理などの知識を十分に理解していただき、2日目の修了試験では、全員が合

格して欲しい」と呼びかけました。

認定講習は、同日全国一斉に行われ、当協会の認定講習試験委員が講師となり、基幹技能の一般知識や関係法令、建設工事の施工管理やその他技術上の管理など、幅広い内容が講義されます。

受講者は基幹技能者の認定に向け、重要な箇所にはアンダーラインを引いたりメモを取りながら熱心に講義に耳を傾けていました。

2日目の講習終了後には修了試験が行われ、合格者には来年1月末までに修了証が交付され「登録電気工事基幹技能者」として認定されます。

### 【講習科目】(全10科目)

1. 登録電気工事基幹技能者の概要
2. 電気工事における新材料・新工法
3. OJT
4. 施工管理・事務管理・原価管理・関連法規等
5. 工程管理
6. 資材管理
7. 安全管理
8. 労務管理
9. 品質管理
10. 環境管理

### ～ 助成金のご案内 ～

「登録基幹技能者認定講習」は「人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース)」の対象となっています。詳しくはお近くのハローワークへお問い合わせください。

## 令和7年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会

# 受注と労働環境改善に向け対応を要望！



令和7年12月3日(水)北海道電気会館において、当協会と(一社)北海道空調衛生工事業協会（電気・空衛連絡協議会）の共催により、北海道開発局営繕部との意見交換会を開催しました。営繕部からは滝本 悦郎部長をはじめ9名、当協会は、藪下裕己会長他11名、北海道空調衛生工事業協会からは池田 薫会長他8名が出席しました。

はじめに両団体を代表して道空衛の池田会長より「抱える課題として、人手不足、労働力不足と高齢化、若年層の入職減少、デジタル化の遅れ、資材の価格高騰などによるコストの増加、働き方改革における時間外上限規制への対応などがあげられる。業界としても、企業が安定した経営基盤のもと、人材確保、育成出来る環境と若者が就職を希望する魅力ある産業づくりを目指していかねばならない。本日の意見交換を通じて、私ども業界が抱える諸課題の実務により活かしていけるよう有意義な会となることを期待している」と挨拶がありました。

北海道開発局 滝本営繕部長は、営繕事業の最近の取り組みについて説明した後、「引き続き物価が高い水準で推移しているとともに、担い手不足が深刻な課題となって来ている。営繕部としても、見積活用の採用、スライドの適切な運用、適切な工期設定、週休二日の推進、ICTの活用、書類の簡素化など、働き方の改革に向けて様々な改善の取り組みを進めている。営繕事業を確実に円滑に進めるために、様々な課題に対して何が出来るのか考え続けていく。忌憚のないご意見をいただきたい」と応じました。



この後、各担当者より営繕工事における働き方改革の主な取り組みについて、営繕工事の入札契約に関する運用方針等について、営繕積算方式などについて説明がありました。

続いて両協会は、①働き方改革の推進について、②現状を踏まえた安定的な工事量の確保と適切な工事価格の採用について、③分離発注の継続についての3項目を要望しました。

これに対し営繕部からは、

- ①費用面の支援や施工条件の改善、発注・施工条件の改善などに努めていく。
- ②次世代への魅力発信や技術者の要件緩和、総量として安定的な工事量の確保、適切な工事価格については、実勢価格と乖離しないよう最新単価を用いるとともに、見積活用方式を活用していく。
- ③施工責任やコストの明確化など、合理的と認められる場合は活用を努めることとされており、今後も原則継続していく。積極的な参加をお願いしたい。と応じました。

最後に当協会の藪下会長より「より多くの若者に入職していただけるような、魅力ある活力あふれる業界にすべく、一層努力していく。引き続きご指導、ご支援を賜りたい」と挨拶があり閉会しました。



池田 会長



滝本 部長



藪下 会長



## 働き方改革を深化させ 担い手確保に向けて 業界の総力をあげて取り組もう！

日本電設工業協会は、令和7年11月6日(木)「令和7年度 会員大会」をリーガロイヤルホテル広島(広島市)において開催しました。全国から会員や来賓など約520名が出席。4週8休の実現や担い手確保、社会・地域のGX実現に貢献などを盛り込んだ「第四次アクションプラン」(24～27年度)の2年目の提言を採択し、閉幕しました。

会員大会は「リーガロイヤルホテル広島」の「クリスタルホール」において、全国から来賓、招待者などを含む518名が出席。北海道支部からは藪下支部長をはじめ19名が出席しました。



文挾 会長

冒頭、文挾会長より「各支部における共通的な課題として、担い手不足が極めて深刻な状況である。地域の社会インフラを支えるのも難しいという意見も聞いている。我が国の人口減少が避けられない中で、今後、様々な分野で労働力不足が益々深刻化することが懸念される。こうした中で、電設業が将来にわたり社会的責任を果たしながら、発展し続けていくためには、業界の置かれた状況を的確に見極め、最善の方法を着実に講じていかなければならない。

このような認識のもと、会員企業をはじめ、本

部、支部、都道府県の協会が手を携え、業界全体の発展のため、魅力ある希望がもてる、そして生き活きと活躍出来る電設業界を目指し、行動する電設協とし運動を展開していくとともに、会員各位にメリットとなる活動を進めていく。引き続きのお力添えをお願いします」と挨拶がありました。

続いて、ご来賓の国土交通省中国地方整備局長 杉中 洋一様、広島県副知事 山根 健嗣様、広島市長 松井 一實様よりご祝辞をいただきました。

### ○ 挨拶されたご来賓



杉中 局長



山根 副知事



松井 市長

## 基調報告

基調報告は、電設協本部と中国支部からの2件が報告されました。

電設協本部からは、技術・安全委員会情報通信専門委員会の浦見 成一主査より「情報通信専門委員会の視点からの『現場支援』に関わる調査研究」をテーマに報告がありました。

中国支部からは、山口県電業協会の石山 慎太郎監事より「一般社団法人 山口県電業協会の現状と課題」をテーマに、地域貢献活動や講習会開催などの活動について、また、今後の課題として会員数の減少を取り上げ、退会防止と新規加入促進に向けた取り組みについて説明されました。



## 大会決議採択

### ～ アクションプラン2年目の提言 ～

大会決議採択は、運営委員会 山本 隆洋委員長より、働き方改革の進捗状況について、次世代への人材確保方策の強化として、新4Kを基軸とした新たな業界イメージの発信や次世代層へのチャンネル強化について、各地の合同企業説明会の支援について説明がありました。

また、特定技能外国人材受入制度の活用に向けては、今後の人材不足が加速することを視野に入



山本 委員長

れた会員の新たな種別として「準会員」の追加を報告し、第四次アクションプラン（2024～2027）2年目の提言として「働き方改革を深化させ 担い手確保に向けて 業界の総力をあげて取り組もう！」と大会決議が提起さ

れ、満場の拍手を以て採択されました。

## 記念講演会

大会終了後は、広島市出身の元NHKエグゼクティブ・アナウンサーの杉浦 圭子氏をお招きし「ヒロシマを知り、今に生きる」と題した記念講演会を開催しました。



杉浦 圭子 氏

杉浦氏は、1981年早稲田大学を卒業後、NHKに入局。主に原爆をテーマとした平和関連番組や連続テレビ小説、NHK紅白歌合戦などを担当し活躍されて来ました。ご自身の父親も13歳の時に被爆。被爆体験の家族伝承者として、被爆による怪我や火傷の痕、職場や結婚における誹謗中傷、また数年経った後も様々な癌を引き起こす、放射線の恐ろしさなどを語りかけました。

ヒロシマの羅針盤として「世界中の全ての人の命の重さに違いはない。気候変動、災害、貧困、飢餓、エネルギー問題など、私たちは運命共同体であり『みんな、大切なひとり』。平和への道を選択しよう！」と結びました。

## 懇親会

### ～ 来年は富山市にて開催！ ～

● 開催日：令和8年10月15日(木)

記念講演会に続き、懇親会が開催されました。経済産業省中国四国産業保安監督部長 金子 健様よりご挨拶をいただいたのち、中国電力ネットワーク株式会社 代表取締役社長 長谷川 宏之様の乾杯にて開宴となりました。

神楽やサクスカルテットのアトラクションが催され懇親会を盛り上げました。最後に会旗伝達式が行われ、次回開催地である北陸支部 水谷和久支部長へ会旗が引き継がれました。

## 令和7年度 経営者懇談会・セミナー



令和7年11月18日(火)札幌グランドホテルにおいて、令和7年度 経営者懇談会を開催、会員代表者など46名が参加しました。

この懇談会は、協会活動のさらなる活性化を目指し、電気設備工事業を取り巻く諸課題や、協会の事業活動に関して意見や提言をいただくとともに会員相互の情報交換や親睦・交流の場として開催しています。



藪下 会長

はじめに藪下 裕己会長は、取り巻く経営環境や諸情勢に触れた後、「本日の懇談会は、地区電業協会の代表者会議である『運営協議会』を兼ねて開催するものですが、道内各地での官民工事の受注実態や人手不足への対応状況などについて、皆さまと忌憚のない意見交換を行い、課題共有と今後の方向性を探る有意義な機会としたいと考えている。本協会としても、引き続き、働き方改革や週休二日制の定着、人材育成・確保の取り組み

を業界全体で推進し『夢と誇りを持てる電設業界』の実現を目指していく。本日はよろしくお願ひします」と挨拶しました。

その後、事務局から電設協「令和7年度 会員大会」、文挾会長と支部との意見交換会、官公庁との意見交換会などの活動結果を報告しました。

各地区協会からは、各地域の景況感や受注状況、人材確保に向けた取り組みなど、近況報告を受け、意見交換が行われました。



地区代表者



役員

## 経営者セミナー



経営者セミナー

懇談会に続いて、同会場において経営者セミナーを開催、会員代表者など64名が参加しました。

藪下会長は、「セミナーは、その時々タイムリーな話題や経営基盤の強化につながるようなテーマを選定し開催している。AIやDXの導入は、働き方の改革や業務の効率化、生産性の向上を実現する鍵のひとつとなっている。本日のセミナーを通じて、最先端のAI・DXの取り組みを学び、それぞれの企業における経営改善や人材の有効活用につながるヒントを得ていただければ幸いです」と挨拶しました。



平安 俊紀氏

今年度は、ソフトバンク株式会社 デジタルエンジニアリング本部の統括部長 平安 俊紀氏にお越しいただき「AIで加速するDX革命 ソフトバンクのAI/DX事例の取り組みと建設業界DXについて」をテーマにご講演いただきました。

日本国内では人口減少に歯止めがかからず、深刻な労働力不足に直面しています。

このような状況のなか、新たな課題解決策として近年、進化、発展が著しいAIを活用しようとする機運が高まり、労働集約型産業の各業界でもAIの活用事例が次々と登場しています。

現在、エンタープライズ企業のDXに関する顧客伴走型の営業支援やDX推進を担当する平安氏

からは、AIとDXの現状とともに、自社で取り組まれているAI/DXの事例と今後の建設業界におけるDXの活用について、映像を交え熱心な講演がありました。

## 合同懇親会

懇談会、セミナーに引き続き、同ホテル別館2階のグランドホール（東）において、合同懇親会を開催しました。



萩本 副会長

開会にあたり萩本 哲夫副会長は、セミナーの講師の平安氏に対して謝辞を述べた後、「とても参考になる興味深い講演であった。働き方改革の推進や労働環境の改善に向けても、DX化を推進していかなければならない」と呼び掛けました。



合同懇親会

懇親会には、平安氏をはじめソフトバンク(株)より3名のご列席をいただきました。和やかに懇親会は進められ、伏木 淳副会長の一本締めにてお開きとなりました。



伏木 副会長

## 令和8年 電気関係賀詞交歓会



令和8年1月14日(水)ニューオータニイン札幌において、当協会と(一社)日本電気協会北海道支部および北海道電気工事業工業組合の共催による「令和8年 電気関係賀詞交歓会」を開催しました。当日は、来賓をはじめ3団体の会員等合わせて約340名が出席。新年を祝うとともに年始の挨拶を交わしました。



日本電気協会 藤井 会長

冒頭、3団体を代表して日本電気協会北海道支部の藤井 裕 支部会長は「電力の安定供給は社会経済活動の原点であり、電気関係事業者と関係団体は、安心・安全で安価な電気を安定的にお届けし、道民の暮らしと経済の発展に貢献するという使命は、この先少しも変わることはありません。

一方、電力安定供給に向けた事業基盤確保・維持のためには、担い手である電気技術者の確保、育成や電気関係業界の認知度向上が喫緊の課題である。今後も関係官庁、諸団体と連携を深めながら電気技術者の各種資格取得支援と技術力の向上、電気安全や電気有効活用等の推進に鋭意努め

ていく。会員の皆さまには、脱炭素化と事業変化にも対応していただき、ともに大きな飛躍につながる一年にしたい」と抱負を述べました。

引き続き、来賓を代表して、北海道経済産業局長 浦田 秀行様より「インフラのなかでも、電力は重要なインフラであり、それを支える人材確保はますます重要になってくる。必要な政策をしっかりと考えていく」とご挨拶をいただきました。



北海道経済産業局 浦田 局長

その後、北海道電気工事業工業組合の小野寺会長の乾杯により賀詞交歓会が開会されました。

和やかなうちに挨拶が交わされ、当協会の藪下会長の三本締めにより、お開きとなりました。



北海道電業協会 藪下 会長

## ～シリーズ～ 「私のいちおし」

浅海電気株式会社札幌支店  
支店長 松 永 卓 也

今回の「私のいちおし」は、お好み焼きです。

札幌支店赴任2年目、関西出身の私は、定期的にお好み焼き（粉もん）が食べたくなり、胸を張っておすすめしたいお店が「本場大阪お好み焼 なんてやねん」です。

お店をご存知の方もいらっしゃると思いますが、日高 晤郎&こおり健太の大ファンで、大阪出身のおねえさん!?が切り盛りするこのお店は、関西の味と雰囲気そのまま札幌に持ち込んだような温かさがあります。



店内はカウンター7席とテーブル4卓20席。テレビがありスポーツ観戦も可能で、初めてでも居心地が良く関西弁の楽しい会話も魅力のひとつです。

看板メニューは「すじコン」。その中で私が断然おすすめするのが「ねぎのせすじコン」。牛すじとこんにゃくの旨味にシャキシャキのねぎがたっぷり乗った一枚は、一度食べたら忘れられない。関西にも負けない、ここでしか味わえない絶品です。粉やソースなどを大阪から仕入れ本場の味にこだわっています。



もちろん、定番のお好み焼き、モダン焼、焼きそばも外せません。ぶた玉やミックスなど、どれもふわっとした食感とソースの香りが食欲をそそります。

鉄板料理などのサイドメニューも充実しており、ビールやハイボール、焼酎、日本酒との相性も抜群で、仕事帰りにふらりと寄るのもよし、家族や仲間とゆっくり語らうのにも最適で気軽楽しめるお店だと思います。

(ボトルキープ有、電子タバコ可)



札幌の地で、関西の本格的な味を楽しめる「なんてやねん」。その名に反して、食べれば食べるほど「なんでこんなにうまいねん」と言いたくなるお店です。

美味しいお好み焼きを探している方に、ぜひ一度足を運んでいただきたい一軒です。

最後に・・・私のいちおしは、やっぱり「ねぎのせすじコン」です（笑）



オーナーさん（右）と一緒に

### ◇ 本場大阪お好み焼 『なんてやねん』

- ・住 所：札幌市中央区南4条西5丁目10-1 つむぎビル5F
- ・電 話：011-796-9373
- ・定休日：日曜日・祝日
- ・営業時間：17：00～23：00 (L.O.22：00)



## 新しくなった『おくしり』 ～奥尻町～

奥尻町長 新村卓実



奥尻町役場新庁舎

### ■ まちの紹介

奥尻町は、北海道の西南端檜山郡江差町より西北61kmの日本海上に位置し、周囲84km、東西11km、南北27kmの離島で、やや三角形形状をしています。気候は穏やかで、海岸線に点在する大小あわせて17の集落は主として東海岸線に沿っています。

地形的にはほぼ中央に584mの神威山があり、島の森林の約6割を占めるブナ林が持つ保水能力のため比較的水流が豊富。産業は水産業や観光業が主となっていますが、畜産および農林業も営まれており、道内の離島で唯一稲作が行われています。また、西海岸には温泉が湧出しています。

### ■ 町名の由来・沿革

町名の奥尻（おくしり）は、アイヌ語の「イクシユンシリ」（沖の島）「ヲコシリ」（向の島）が転訛したものです。

明治12年に釣懸村に戸長役場が置かれました。明治39年4月に2級町村制が施行され、この年の戸数は200戸を超えていました。

以来、本島は発展の一途をたどり、昭和38年に奥尻大火が発生しますが、島民の努力によって見事に復興し、昭和41年1月に町制が施行され現在の町名となりました。

### ◎ 人口と世帯数（令和7年10月末現在）

- ・人口 2,101人  
男性：1,115人 女性：986人
- ・世帯数 1,326世帯

### ■ 交通機関

奥尻島への交通機関は、江差町から1往復フェリーが就航。7月、8月には2往復、所要時間2時間10分（冬期は所要時間2時間20分）。

また、航空機が函館空港から48人乗り「ATR 42-600」が1日1往復、所要時間30分。丘珠空港からは金曜日、日曜日に1往復、所要時間50分（冬期運休）にて運航されています。

## ■ 主なイベント

奥尻町では、<sup>さい</sup>賽の河原祭・<sup>かわらまつり</sup>室津祭・<sup>むろつまつり</sup>なべつる祭<sup>まつり</sup>を三大祭と称し開催していましたが、令和6年度より各祭を1つにまとめ「おくしりまるごと祭」を7月に開催しております。

過去の開催時は、海産物を味わえる「海の幸味三昧」や花火大会など地元住民をはじめ、観光客も楽しめるプログラムが実施されています。



奥尻地区の山車をバックに盆踊り



奥尻の海の幸を満喫

## ■ 奥尻総合庁舎

令和6年5月7日に新庁舎を開庁し、町の新たな行政拠点として業務を開始しました。役場・議会・消防・保健福祉センターを一つの建物に集約し、これにより日常の窓口業務と非常時の指揮機能、地域福祉の連携を一体化し、迅速で的確な行政サービスの提供を実現します。



新役場窓口

また、奥尻町は令和4年にゼロカーボンシティを宣言しており新庁舎は環境に配慮しています。暖房に木質バイオマスボイラー、冷房に地中熱ヒートポンプ、屋根や外壁に高断熱の装材、太陽光パネルを導入し、従来の建物で必要なエネルギーを50%以下まで削減したZEB Readyを達成しています。



町議会議場

## ■ 奥尻町ホームページ

◎ <https://www.town.okushiri.lg.jp>



### ● 豆知識 ～奥尻町～

- 町の木：オンコ、町の花：ハマナス
- 特産品
  - ・うに、あわびなど新鮮な魚介類
- 著名人
  - ・元プロ野球選手：佐藤義則さん
  - ・奥尻中学校、函館有斗高校（現函館大学附属有斗高校）、日本大学を経てプロ野球元阪急（現オリックス）のドラフト1位指名で入団。エースとして活躍
  - ・新人王、最多奪三振、最多勝利、最優秀防御率など数々のタイトル獲得。当時最年長でノーヒットノーランを達成



## 花の浮島 礼文島 ～礼文町～

礼文町長 澁谷 秀勝



### ■ まちの紹介

礼文町は、宗谷地方北部に位置する礼文島にある町で、礼文島は、北緯45度、東経141度に位置しています。

礼文島の名前は「沖の島」を意味するアイヌ語「レブンシリ」に由来しており、南北29km、東西8km、周囲は72km、面積は約82km<sup>2</sup>の日本最北の有人国境離島です。

本町は、冷涼な気候により本州では標高2,000m級の高山植物が、海拔「ゼロ」mから咲く「花の浮島」として全国に知られており、礼文島固有種である「レブンアツモリソウ」や町の花である「レブンウスユキソウ（エゾウスユキソウ）」などが有名です。

基幹産業である漁業は、対馬暖流の流れ込む豊かな漁場を抱えており、ウニ、コンブ、ホッケやタラなどが有名です。

島全体が「利尻・礼文・サロベツ国立公園」の中にあり、厳しい自然が作り上げた景観や奇跡的な自然が今なお残されているため、夏には約300種の高山植物を見ることが出来ます。

また、隣接する利尻島にある利尻山が海から突き出している様子を最も近くから見る事が出来ます。

### ◎ 人口と世帯数（令和7年10月末現在）

- ・人口 2,163人
- ・世帯数 1,202世帯
- ・町花 エゾウスユキソウ
- ・町木 シンパク
- ・町鳥 コマドリ

### ■ まちのイベント

#### ◎ あつもり感謝祭（5月末頃）



あつもり感謝祭

礼文島固有種の「レブンアツモリソウ」の開花時期に群生地では来訪者をもてなします。自生のレブンアツモリソウは、開花時期が短く、感謝祭の前後しか見ることは出来ません。

### ◎ 最北フラワーマラソン（6月）

咲き始めた高山植物を鑑賞しながら島内沿岸部を走ります。本格的な10kmの部から親子で楽しめる親子ペアの部まで様々な種目があり、それぞれが楽しめるイベントになっています。競技後は天然温泉に無料で入ることが出来ます。



フラワーマラソン

### ◎ 水産まつり（7月）

島内で採れた海産物を堪能してもらうイベントです。ウニ剥き体験が出来るほか、ホッケの試食が提供され、多くの来場者でにぎわいます。



水産まつり

## ■ 観光地

### ◎ 礼文島温泉「うすゆきの湯」

源泉かけ流しの天然温泉です。年中無休で営業しており、天気が良ければ露天風呂からは、利尻山が一望出来ます。

### ◎ 北のカナリアパーク

映画「北のカナリアたち」の撮影に使用された校舎を使用した展望施設です。利尻山を最も近い場所から見る事が出来ます。

### ◎ 巖島神社例大祭（7月）

島のみんなで神輿を担ぎ、島の各地を巡ります。観光の方も宿で人数を募って参加する人もいます。神輿を高く投げ上げる姿がとてもダイナミックです。



巖島神社例大祭

### ◎ 礼文ふるさとまつり（8月）

夏休みでにぎわう中、来島者も町民も一緒になって島の味を堪能します。併せて、花火大会や綱引き大会なども開催され、楽しいイベントが集まっています。



礼文ふるさとまつり



北のカナリアパーク

## ■ 礼文町ホームページ

◎ <https://www.town.rebun.hokkaido.jp>





【室蘭地球岬】

### ■ 電業協会の概要

- ・ 設 立：昭和40年 6 月
- ・ 会員数：21社
- ・ 人 口：3市合計 146,710人
- ・ 自治体数：3市（室蘭市・登別市・伊達市）
- ・ 面 積：737.42km<sup>2</sup>

室蘭電業協会は、室蘭・登別・伊達、胆振西部3地区により、電気設備工事事業者団体として地域の皆様方の生活を支えてまいりました。

今年度、会員企業1社が新たに加わり、構成会員は21社となりました。引き続き地域の皆様の要望にお応え出来るよう、協会一丸となり取り組んでまいります。

### ■ 電業協会の事業活動

#### 《安全の取り組み》

安全へと取り組みとして毎年、会員が施工している近郊の代表的な現場を選定し、役員が中心となり安全パトロールを実施しております。

会員各社と安全チェックリストを基に、現場の状況や安全の取り組みなどについて共有することにより、安全に対する意識の高揚を図り、安全確保に努めております。

安全大会等の実施は室蘭電業協会独自では行っ

ておりませんが、今後も会員各社と共に、労働災害ゼロを目指し安全確保に努めた取り組みを行ってまいります。

#### 《分離発注要請活動》

分離発注要請活動は例年、会長、副会長、理事と共に行っております。例年、分離発注を継続していただけるよう要請してまいりました。室蘭市を初めてとする水道部や港湾部なども含め計6カ所に要望書を提出するとともに、北海道、北海道開発局全てに要望書を提出しております。大半は分離発注となっておりますが、今後も分離発注継続に向け、丁寧な活動を続けてまいります。

#### 《発注者との意見交換会》

北海道開発局との意見交換会は、例年、苫小牧電業協会と合同にて実施しております。

この意見交換会は、受注者側と発注者側双方の情報交換とともに、お互いの認識を確認する重要な機会でもあり、忌憚のない意見交換を行い、様々な諸課題の解消に向け、努めていきたいと考えております。

電業協会の大きな役割は、情報収集と会員への情報配信であると認識し、丁寧かつ迅速に行動できるよう努めてまいります。

## ■ 3市のご紹介

### ◎ 室蘭市

室蘭市はモノづくりの街との印象も強いですが、実は「景色・歴史・食」が揃った知るほどに味わい深い街です。

工場の夜景では、白鳥大橋と製鋼所の光が作る夜景は幻想的です。他にも地球岬から見る断崖絶壁は必見です。

明治、大正から「製鉄・港湾・鉄道」が街の骨格を作り派手さはないですが「働く街の誇り」が感じられるのが一番の魅力です。

### ◎ 登別市

登別市は支笏洞爺国立公園の中核に位置し、多彩な泉質を持つ、まさに「温泉のデパート」とも呼ばれる登別温泉を有する、北海道有数の観光都市です。毎年、国内外を問わず多くの観光客が訪れます。

また、本道で最も進んだ重工業地帯の室蘭工業圏の一翼としても発展してきました。

### ◎ 伊達市

伊達市の面積は約444km<sup>2</sup>で、東京23区の約7割の広さに、人口約31,000人が暮らしています。

北海道の中でも過ごしやすい気候に恵まれていることから「北の湘南」と呼ばれ、北海道内外からの「移住のまち」としても人気です。

市内南側は、観光や生活の中心エリアであり、総合公園「だて歴史の杜」の中には、歴史や文化を体験出来るミュージアム、地元の特産物がそろった道の駅、歴史的な建造物など、白壁と瓦屋根が特徴の武家屋敷風街並みも魅力です。



◎ 室蘭市  
白鳥大橋と製鋼所



◎ 登別市  
名湯 登別温泉



◎ 伊達市  
だて歴史の杜 大手門

## ■ 構成会員紹介

### 株式会社 耕電設

創業者である故千葉 耕二が、荷台車に腰道具、資材を積み、住宅の電気工事を手掛けたのが弊社の始まりです。1972（昭和47）年6月に「耕電設」を創立。1974（昭和49）年4月に「株式会社 耕電設」を設立しました。

創業理念である「明日への明かりを耕しつづける」とは、社員一人ひとりの成長が会社を成長へと導き、地域の発展へとつながる。私たちは電気工事という舞台に立ち、心のあかり、地域のあかりそして、明日（みらい）へのあかりを耕しつづけることを社会的使命として、これからも地域発

展のため成長し続けます。

◎ (株)耕電設ホームページ

・ <https://ko-den.com>



株式会社 耕電設 オフィス内



室蘭電業協会

〒050-0074

北海道室蘭市中島町4丁目17番地33号 (株)耕電設内



## 北海道立野幌総合運動公園体育館改修照明設備ほか工事

### 【工事概要】

- 工事名称：北海道立野幌総合運動公園体育館改修照明設備ほか工事
- 発注者：北海道
- 請負者：株式会社 北弘電社
- 工期：令和7年5月23日～令和8年2月27日
- 工事概要：総合体育館の照明設備改修（LED化）およびトイレ改修における電気設備工事
- 主要工事：照明器具 約1,300台、ウォッシュレット電源コンセント・分電盤1面 他
- 工事場所：北海道江別市西野幌481番地

今回の「現場からこんにちは」は、2025年9月16日より休館し、大規模改修工事を行っている江別市西野幌の「北海道立野幌総合運動公園（NOPOROヤシマ商会スポーツパーク）体育館」の現場において、照明設備改修（LED化）およびトイレ改修における電気設備工事を担当する、株式会社 北弘電社の現場代理人 喜多 啓介さんと現場担当者 狭間 麻由美さんのお二人にお話を伺いました。

本施設は、江別市野幌森林公園に隣接する総面積64.1haもの大規模なスポーツレクリエーションの拠点「野幌総合運動公園（NOPOROヤシマ商会スポーツパーク）」に建設されています。

まずは、喜多さんに現場の特徴を伺いました。

「本現場は、主要工事となる照明器具の更新台数は約1,300台あり、器具を設置する天井の高さが一番高いところで約15mの高所となるため、高所作業車や足場などを活用した大がかりな工事となりました」。

次に、工事を進めて行く中で印象的だったことについては「一つは工事工程です。休館後に他工事との繁忙を軽減するため、休館前から作業可能な場所の工事を始めていきました。地下階の配線作業から始めて、開館日はお客様に影響が出ない場所の器具更新作業などを進めました。定休館日も活用し、休館前には、出来る範囲の作業を終え

ることが出来ました。もう一つは、器具更新作業の手順について工夫しました。3棟ある建屋の内、スロープや段差などがあるホールでの作業には、自走式ブーム型クローラ高所作業車を使って安全に配慮しました」。



高所作業車での作業

「メインアリーナでは、24箇所ある作業場所を枠組み足場6基で行いました。6基の足場を組み立てて、作業が終わったら解体して次の場所で組み立てるという手順を繰り返し4回のローテーションで作業を終えました。一度足場を解体してしまうと、手直しなどがあるたびに組み立てなくてはならないので、作業ロスを防ぐため、やり直しのないように入念にチェックをして、北海道の監督員にも遠隔臨場で確認いただき、次の作業に移る手順を徹底しました」。



枠組み足場での作業

続いて、狭間さんに今の仕事を選んだ経緯について伺いました。

「入社して6年目になります。前職は全く関係のない仕事をしていましたが、物を作る仕事に就きたいと思いました。資格などもなく、最初は契約社員でしたが、多くの現場経験を経て色々覚えて、現在は社員として働いています。資格も1級電気工事施工管理技士と第一種電気工事士、消防設備士を取得出来ました。入社した頃は、工事写真のデータ整理や安全書類の作成などのデスクワークから始まって、徐々に現場に出られるようになり、仕事を覚えていきました。この現場では、

今トイレの改修工事に入り、喜多さんのフォローの下、一通りの仕事を任せていただいています」。

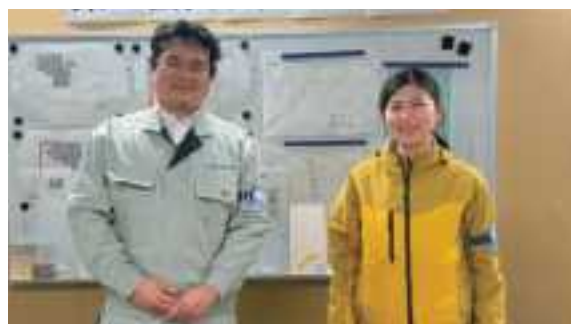
次に現場の作業環境について伺いました。

「この現場は環境が良く、女性用トイレや更衣室が設置されていて、働きやすいです。恵まれている環境だと感じています」。これまでの現場経験については「ここの現場は4件目ですが、最初は、新築建物の外構工事の現場でした。一から物を作り上げていくところが、私的には楽しかったです。2件目は、円山球場のスコアボードの工事現場でした。機械式のスコアボードを、巨大な電光掲示板に取り替える工事なのですが、掲示板の大きさに加え、冬季の工事だったため場内が使えず、交通道路を片側通行に規制して搬入したりと、大変な現場でした。3件目は札幌中央市場の照明設備の工事でした。屋内の工事なのですが、外からカラスが入ってくるため、防鳥ネットを取り付けなくてはならず、こちらも大変な工事でした。今後は、新築現場の屋内工事を最初から手がけてみたいと思っています」。

現場を取材した11月中旬の進捗率は70%以上で、照明設備改修工事は終えており、トイレ改修工事の最中でした。最後にメインアリーナとサブアリーナを見学させていただき、更新された高天井の照明を見させていただきましたが、お話にあった足場を駆使しての作業風景が想像出来るようでした。

最後になりますが、工事終盤に向かう大変多忙な時期にも関わらず、取材にご協力いただきまして、本当にありがとうございます。本工事の無事故・無災害での竣工と、今後のお二人のご活躍を心より祈念いたします。

取材：広報委員 坂本 淳、嶋田 幸規、本間 勝行



株式会社 北弘電社  
現場代理人兼監理技術者 喜多 啓介さん (左)  
現場担当者 狭間 麻由美さん (右)

令和7年度

# 建設産業ふれあい展

令和8年1月10日・11日の両日、令和7年度「建設産業ふれあい展」が札幌駅前通地下歩行空間（大通りから北3条までの各広場）にて開催されました。当協会は10日(土)に札幌電気工事業協同組合とコラボにより出展。ブースには356名が訪れ、賑わいをみせました。

## 遊び・体験 ～ 電気の世界！



今年で10回目を迎えた「建設産業ふれあい展」は、ものづくりの楽しさや実際の現場を実感していただく体験コーナー、建設産業にちなんだ展示コーナー、クイズラリーに重機シミュレーターなど、多くのイベントが催されました。

このふれあい展は、北海道と札幌市が主催。(一社)北海道建設業協会と(一財)北海道建設技術センターが協賛し、建設業や専門工事業から22団体が参加し出展しました。今年は開催10回目を記念し「動画スタンプラリー」と「ワークウェア・ファッション・コレクション」の2つのインターネットイベントも併催。両イベントへは当協会からも多くの素材を提供しました。

道内の建設産業は、災害時対応や除雪といった地域の安全・安心を担うなど重要な役割を果たしていますが、その重要性については、十分理解されているとはいえない状況となっています。

こうしたことから、道民の皆さまに対し、建設産業の役割や重要性について、理解を深めていただけるよう、建設産業を身近に感じてもらえるイ

ベントとして例年開催しています。

当協会は札幌電気工事業協同組合とのコラボ出展。会場である「チ・カ・ホ」の北1条東のイベントブースには、体験コーナーとして、自宅にもある身近なコンセント組み立ての電気工事を体験。また、導電性（電気を通す性質）のインクペンでのお絵描きや、実は大人がやりたい「電流イライラ棒ゲーム」、ヘルメットに腰道具を身に付けての写真撮影など、体験と遊びを通じて電気工事に触れていただきました。

また展示コーナーとして、発電から家庭へ届くまでの電気の経路や、電気工事の仕事内容を紹介するパネルを展示。さらに、札幌電気工事業協同組合青年部が作成した電気工事を紹介するDVDも放映しました。

体験コーナーでは、親御さんも一緒になって電気工事に挑戦。イライラ棒ゲームやお絵描きに歓声上がり、展示されたパネル、ユーチューブを熱心に見入る姿も見られるなど、ブースは賑わいをみせました。



■ 電流イライラ棒に挑戦！

今年も大人にも子どもにも人気のあった「電流イライラ棒」。完走者はなんとお二人でした。



■ お絵描きアート

ペンで書いた線にランプの線をつなぐと電気が点くよ。電気が流れるインクのペンでした。



■ 電工体験

コンセントにカバーを付けて、電球のコードをさすと電気が点きます。将来は電気屋さん！



■ 写真撮影

腰道具にヘルメットをかぶって、手にはドライバとペンチ。はいポーズ！



■ 参加記念品

ブースへ来場されたお子さんへは、心ばかりの記念品を進呈。楽しんでくれたかな？



■ パネル展示

「う～ん電気の配線ってこうなってるんだ」このパネルの中にクイズの答えが隠れてるよ！

## 新入会員紹介

(企業会員)

株式会社 なかむらでんき 中村電気 さっぽろしてん 札幌支店



代表取締役  
中村 衛

### ■ 所在地

札幌市市白石区北郷5条4丁目5番31号

TEL:011-867-0802

FAX:011-867-0807

URL: <https://nakamura3150.com>

### ■ 営業店舗

苫小牧本店、様似支店

### ■ 創業

1959（昭和34）年4月1日

### ■ 主な事業内容

電気工事、電気通信工事、消防施設工事、家庭用・産業用電気機械器具の販売、一般および特定労働者派遣事業

### ■ ご挨拶

寒さ厳しき折、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、一般社団法人北海道電業協会への入会につき、ご了承賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

当社は苫小牧市に本店を構え、令和4年12月に札幌支店を開設し、令和7年12月で3年を迎える運びとなりました。

創業以来、「人とのつながりを大切にすること」を企業理念の中心に据え、電気工事業を通じて社会に貢献することをスローガンに掲げ、信頼される会社づくりに努めてまいりました。

地域の皆様とのご縁を大切にし、安心・安全な施工を提供することで、社会に必要とされる存在であり続けることを目指しております。

札幌支店の開設以降、より広域でのサービス提供と技術力の向上に取り組んでまいりましたが、このたび当協会に入会させていただくことで、業界の皆様との連携を深め、さらなる成長と社会貢献を実現していきたいと考えております。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



<苫小牧本店>



<札幌支店>



<様似支店>

## ボウリング部会

### 13会員から24名が参加！『熱戦』が繰り広げられる！



プレー前に全員集合！



優勝はアイ・リンク新保さん！

ボウリング部会は10月31日(金)、GiGO BOWLノルベサにおいて、今年度2回目の部会を開催しました。

当日は13会員から24名が参加。爽やかな疲労感とともに親睦、交流が図られました。

今年度の活動はこれで終了ですが、来年度も同様に開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

#### <総合成績>

順位	会社名	氏名	1G	2G	HD	TOTAL
優勝	アイ・リンク(株)	新保 健一	183	170	30	413
準優勝	アイ・リンク(株)	本間 勝行	176	135	30	371
3位	北盛電設(株)	森崎 亨一	162	158	25	370
4位	(株)北海電工	木村 裕介	194	105	16	331
5位	北盛電設(株)	大塚 雅史	119	134	30	313
6位	北盛電設(株)	大西 勇輝	167	118	10	305
7位	協信電気工業(株)	尾形 武志	158	123	5	291
8位	三共電気工業(株)	小林 勇治	139	131	10	290
9位	北海道タツマ電気(株)	高橋 勇氣	135	150	0	285
10位	協信電気工業(株)	三好 充博	135	86	30	281

## ゴルフ部会

### 第3回ゴルフ部会開催！水野さん初優勝！

第3回ゴルフ部会は、札幌芙蓉カントリークラブにて25社から33名の参加により開催されました。前日の雨で天気が心配されましたが、時折強い風が吹くものの、青空も垣間見え、参加したプレーヤーは自己ベストを目指し秋も深まる自然林に囲まれた丘陵コースに臨みました。

優勝は、日本電設工業の水野さん。18ホールをシーズンベストで回り、見事、初優勝。また来年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。



#### ■ 第3回 総合成績 2025年9月18日(木) 参加者：33名 (25社)

順位	会社名	氏名	OUT	IN	Gro	HD	NET
優勝	日本電設工業(株)	水野 正智	42	42	84	18	66
準優勝	(株)北海電工	吉田 岳夫	40	41	81	12	69
3位	浅海電気(株)	片平 友樹	41	43	84	12	72
4位	北電力設備工事(株)	桜庭 謙次	43	44	87	13	74
5位	北盛電設(株)	稲津 亘	45	45	90	16	74
6位	札幌機電工業所(株)	三好 裕一	45	44	89	14	75
7位	サンエス電気通信(株)	中里 修二	48	46	94	17	77
8位	旭日電気工業(株)	佐藤 信悦	45	41	86	9	77
9位	北工電気(株)	森 等	49	46	95	18	77
10位	浅海電気(株)	松永 卓也	49	45	94	17	77

(会場：札幌芙蓉カントリークラブ)

#### <優勝者> 水野 正智さん



## 業界だより

### 【法人職務執行者の変更】

(令和7年4月1日付け)

○ 能美防災株式会社北海道支社

(新) 支社長 菅野 弘

(旧) 支社長 大石 昌男

○ 清水勸業株式会社

(新) 代表取締役社長 渡辺 大輔

(旧) 代表取締役社長 渡辺 洋人

(令和7年12月1日付け) (役職変更のみ)

○ 旭日電気工業株式会社札幌支店

(新) 執行役員支店長 佐藤 信悦

(旧) 支店長 佐藤 信悦

### ◆ Conference reports ◆

## 理事会・三役会議・委員会報告

### 理 事 会

◇ 令和7年10月23日(木) 北海道電気会館

#### 【第4回議題】

##### (協議事項)

1. 令和7年度下期・8年度上期役員会等の行事日程(案)について
2. 北海道電業協会への新規入会について
3. 令和7年度経営者懇談会・セミナーの実施内容について
4. 令和7年度北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会について

##### (報告事項)

1. 定款第21条第5項の規定に基づく職務執行状況報告について
2. 電設協本部への新規入会申請企業の承認について
3. 北海道と設備4団体との意見交換会について(開催報告)

4. 技術系学校生徒の電気工事現場見学会について(開催報告)

5. 会員の諸変更について

6. 令和7年11月～12月行事予定について

(その他意見交換)

◇ 令和7年12月9日(火) 札幌グランドホテル

#### 【第5回議題】

##### (協議事項)

1. 定時総会までの協会主要スケジュールについて
2. 道電協令和7年度上期経理報告について
3. 令和7年度電設業関連4団体懇談会の開催について

##### (報告事項)

1. 電設協北海道支部への企業新規入会申請について
2. 令和8年電気関係賀詞交歓会について
3. 令和7年度「建設産業ふれあい展」への参加

内容について

4. 会員の諸変更について
5. 令和7年12月～令和8年1月行事予定について

(その他意見交換)

## 三 役 会 議

◇ 令和7年10月15日(水) 北海道電気会館

【第7回議題】

(協議事項)

1. 令和7年度下期・8年度上期役員会等の行事日程(案)について
2. 定款第21条第5項の規定に基づく職務執行状況報告について
3. 北海道電業協会への新規入会について
4. 令和7年度経営者懇談会・セミナーの実施内容について

(報告事項)

1. 北海道と設備4団体との意見交換会について(開催報告)
2. 技術系学校生徒の電気工事現場見学会について(開催報告)
3. 令和7年度電設協会員大会(広島)の参加申込み状況について
4. 会員の諸変更について
5. 令和7年10月～11月行事予定について

(その他意見交換)

1. 電気・空衛連絡協議会幹事会の開催について
2. 官公庁への分離発注要請活動について

◇ 令和7年11月18日(火) 札幌グランドホテル

【第8回議題】

(協議事項)

1. 令和7年度経営者懇談会・セミナーについて
2. 令和7年度北海道開発局営繕部との意見交換会での要望事項について
3. 道電協令和7年度中間経理報告について
4. 令和8年電気関係賀詞交換会の開催について

(報告事項)

1. 都道府県電業協会(団体会員)の外国人材受入れについて
2. 2026年度登録電気工事基幹技能者認定講習の方向性について
3. 会員の諸変更について
4. 令和7年11月～12月行事予定について

(その他意見交換)

◇ 令和7年12月9日(火) 札幌グランドホテル

【第9回議題】

(協議事項)

1. 定時総会までの協会主要スケジュールについて
2. 令和8年関係団体定例行事への対応について
3. 令和7年度電設業関連4団体懇談会の開催について

(報告事項)

1. 電設協北海道支部へ企業の新規入会申請について
2. 令和7年度「建設産業ふれあい展」への追加参加内容について
3. 会員の諸変更について
4. 令和7年12月～令和8年1月行事予定について

(その他意見交換)

◇ 令和8年1月14日(水) ニューオータニイン札幌

【第10回議題】

(協議事項)

1. 令和8年度上期役員会等の行事日程の一部変更について
2. 令和8年度会費等収入見込額と収支予算案の策定について
3. 令和8年度北海道防衛局事業説明会への対応について
4. 「働き方改革」推進に向けた建設関連団体等との意見交換について
5. 開発局営繕部からの人材確保・育成に関する

提案への対応について

6. 運営協議会（地区代表者会議）意見交換テーマのアンケートについて

#### （報告事項）

1. 令和8年登録電気工事基幹技能者認定講習実施計画について
2. 令和7年電気記念日の事業実施に伴う後援依頼への対応について
3. 令和7年度技術講習会（座学）の開催について
4. 会員の諸変更について
5. 令和8年1月～2月の行事予定について  
（その他意見交換）

## 総務委員会

◇ 令和7年12月2日(火) 北海道電気会館

#### 【第3回議題】

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 道電協令和7年度中間経理報告について
3. 令和7年度「建設産業ふれあい展」への対応について
4. 令和7年度北海道開発局営繕部との意見交換会について
5. 令和8年電気関係賀詞交歓会について
6. その他意見交換

## 経営委員会

◇ 令和7年9月18日(木) 北海道電気会館

#### 【第2回議題】

1. 経営委員の追加選任について
2. 電設協本部「第321回政策委員会」の議事について
3. 技術系学校卒業生の就職状況調査結果について
4. 求人希望者および採用状況の調査結果について

5. インターンシップ実施状況の調査結果について
6. 令和7年度電気通信事業に関する意見交換会について
7. 令和7年度北海道と設備4団体との意見交換会について
8. 令和7年度分離発注要請活動について
9. 令和7年度経営者懇談会・セミナーの開催について
10. 今後の北海道開発局営繕部との意見交換の進め方について
11. その他意見交換

## 広報委員会

◇ 令和7年10月2日(木) 北海道電気会館

#### 【第2回議題】

1. ホームページの更新について
2. 広報委員の辞任について
3. 会報「No.207」の発刊までのスケジュール等について
4. 会報「No.208」編集方針（案）について
5. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇ 令和7年9月24日(水) 北海道電気会館

#### 【第2回議題】

1. 技術安全委員の交代について
2. 事業活動報告について
  - ①令和7年度安全大会
  - ②令和7年度札幌市電気設備施工研修会
  - ③シーケンス制御の基礎実技講習会
  - ④技術系学校先生との意見交換会
  - ⑤技術系学校生徒の電気工事現場見学会
3. 令和7年度登録電気工事基幹技能者認定講習について
4. 今後の事業活動について
5. その他意見交換

# 講習会情報

information



## 令和8年度『技術・安全衛生基礎教育講習会』（新人研修）

- 申込受付期間
  - ・ 令和8年2月24日(火)～3月13日(金)まで（予定）
- 開催日
  - ・ 令和8年4月7日(火)～4月10日(金) 4日間
- 開催場所
  - ・ 北海道電気会館 6階 大ホール（札幌市中央区大通り東3丁目2番4）
- 受講料（税込）
  - ・ 10,000円（テキスト代を含む）
- 受講対象者
  - ・ 新入社員および入社数年の新入社員
- 申込方法
  - ・ 開催案内および申込用紙は、会員代表者へメールにて送付するほか、(一社)北海道電業協会のホームページからもダウンロードできます。
  - ・ 申込用紙は、(一社)北海道電業協会へメールにて提出。受講定員に達し次第締め切ります。
- その他
  - ・ 詳細につきましては、講習会開催の10日ほど前に受講者へメールにてご案内します。

## 令和8（2026）年『登録電気工事基幹技能者認定講習』

登録電気工事基幹技能者認定講習は、令和8（2026）年より、Web講習（eラーニング受講）およびCBT試験が導入されます。

- 申込受付期間
  - ・ 令和8年7月6日(月)～7月25日(土)まで
  - ・ Webにて申請。ただし、実務経験証明書は、事業主押印後別途郵送
- eラーニング受講期間
  - ・ 令和8年9月1日(火)～10月31日(土)
- CBT試験受験期間
  - ・ 令和8年11月1日(日)～11月28日(土)
  - ・ 試験会場は、全国の330箇所から選択
- 受講料（税込）
  - ・ 22,550円
- その他
  - ・ 受講資格および必要書類など詳細につきましては、令和8年7月1日(水)（予定）に掲載される(一社)日本電設工業協会のホームページをご覧ください。

# 会員行動目標

## ● 第一 法令等の社会ルールを守る

### 1. 事業者倫理に則った公正な事業活動

社会を構成する一員として、事業者倫理に則って公正な事業活動を行う。また、これに必要な体制の整備に努めるものとする。

### 2. 関係法令の遵守の徹底等

電気設備工事業全般に関係が深い建設業法、電気工事業法、労働安全衛生法等にかかる立法の精神に沿って、厳正な法令遵守に努める。

特に工事の入札に関しては、独占禁止法等諸法令に違反して入札の公正・公平を阻害する行為を行わない。また、社会から疑惑を持って見られかねない組織に加わらない。

### 3. 政治、行政との健全な関係の確保

政治、行政との健全な関係の確立に留意する。いかなる場合にあっても、贈賄行為や政治資金規正法等に違反する行為を行わない。

### 4. 反社会的勢力の排除

企業を取り巻く反社会的勢力からの不当な要求に応じない。問題が発生した場合又はその虞がある場合には、速やかに警察の協力を求める。また、反社会的勢力を利用する行為は絶対に行わない。

## ● 第二 適正な事業活動を通じて社会的使命・役割を遂行する

### 1. 良質な製品・サービスの提供

顧客や社会の期待と信頼を直視し、生産性の向上や品質の改善を図り、適正価格で良質な製品・サービスの提供を行う。これに必要な経営の合理化、技術開発の促進、生産システムの改善、人材の確保・育成、安全対策の強化等に努める。

### 2. 適正で節度ある市場競争の展開

良質な製品・サービスの提供と電気設備工事業の健全な発展を実現するため、コストを度外視した安値受注（いわゆるダンピング受注）は行わない。また、技術力、施工能力等を考慮し、経済合理性に立った節度ある受注活動を行う。

### 3. 電気設備工事における分離発注の拡大

独自の技術・施工体制を有し、高度な専門分野を形成している電気設備工事分野において、顧客ニーズへの対応、品質の確保、施工責任とコストの明確化等の観点から合理的な分離発注が拡大されるよう、関係各方面に対し積極的に働きかけを行う。

### 4. 建設生産関係者との公正で合理的な関係の構築

建設生産におけるあらゆる関係者（顧客、設計・工事監理者、元請事業者、下請事業者、資機材事業者等）との公正で合理的な関係の構築に努める。

### 5. 情報開示及び社会各層とのコミュニケーションの展開

事業活動に関わる必要な情報開示を行うほか、顧客、株主、マスコミなど社会各層とのコミュニケーションを積極的に行う。

### 6. 環境問題への取組み強化

事業活動全般にわたって公害防止、省エネルギー化、廃棄物の削減・適正処理・リサイクルに努め、地球環境問題を含めた様々な環境問題への取組みを強化する。

### 7. 社会貢献への努力

あらゆる事業活動が社会に支えられているとの認識に立ち、「良き市民」として社会から厚い信頼を受けることは、緊要である。このため、各会員は、事業活動の各面において積極的な社会貢献に努める。



『ちゃんとチェック！』

# 北海道の最低賃金

北海道内の事業場で働く全ての労働者（会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働く全ての人）およびその使用者に適用される北海道の最低賃金が、次のとおり改定されました。

時間額 **1,075** 円

**（効力発生年月 令和7年10月4日）**

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は参入されません。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く方には、北海道の特定（産業別）最低賃金が適用されます。

◆賃金引上げ特設ページ

◆「賃上げ」支援助成金パッケージ

◆北海道働き方改革推進支援センター



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。このたび、会報誌208号の発刊にあたり、国土交通省北海道開発局営繕部長 滝本 悦郎様には、大変ご多忙な時期にもかかわらず、「年頭ご挨拶」をご寄稿いただき心より感謝申し上げます。

また、昨年12月に開催されました、令和7年度「北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会」におきましては、滝本部長様をはじめ、営繕部幹部の皆様と近況や課題改善に向け、広く意見が交わされたことに重ねて感謝申し上げます。

意見交換会では、電気・空衛両協会より「働き方改革」推進について、現状を踏まえた「安定的な工事量の確保」と「適切な工事価格の採用」について、「分離発注」の継続について、3点のご要望を申し上げましたが、真摯に受け取っていただき、誠にありがとうございます。今後とも開発局営繕部様とは、より良い発展的な関係を築いて参りたいと思う次第です。

最後になりますが、今後とも、より良い広報誌の発刊に向け、委員ともども尽力いたしますので、協会会員ならびに諸関係団体の皆様には、変わらぬご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

広報委員長 木村 賢史

### 広報委員会

担当副会長 萩本 哲夫  
委員長 木村 賢史  
副委員長 大塚 雅史  
副委員長 松岡 孝夫

委員 足利 祐典  
委員 有本 純  
委員 内田 勝久  
委員 片平 友樹

委員 坂本 淳  
委員 嶋田 幸規  
委員 本間 勝行  
委員 三好 充博

委員 若宮 昇平  
オブザーバー 嶋津 博

表紙の花『ハマナス』：北海道の花に指定されています。耐寒性が強く、オレンジ色の実は食品や香料などに利用されています。花言葉は「あなたの魅力にひかれます」「美しいかなしみ」など。素朴でありながらも優雅で可憐な花の形容である言葉が見られます。



発行 令和8年2月  
一般社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区北1条東3丁目1-1  
北電興業ビル4階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp  
URL:http://www.dodengyo.jp/

